

平成三十一年度 個別学力試験問題

(後期日程)

小論文問題 (1)

(二二〇分)

人文学類

注意

- 一、指示があるまで問題用紙を開かないこと。
- 二、解答は設問ごとに別々の用紙を用いること。
- 三、解答用紙の上部の空欄に、設問の番号を書くこと。
- 四、解答用紙と下書き用紙は、はじめに切り離すこと。
- 五、解答は横書きで記入すること。

問題文は次のページからはじまります。

以下の文章を読んで、次の設問に答えなさい。

〔問1〕筆者のいう「質的調査」とはどのようなものか、「量的調査」との違いが分かるように要約しなさい。（六百字以内）

〔問2〕「質的調査」に対する筆者の見解に対して、あなたの考えを述べなさい。（六百字以内）







（岸政彦・石岡丈昇・丸山里美『質的社会調査の方法―他者の合理性の理解社会学』より）

平成 31 年度 個別学力試験問題

(後期日程)

小論文問題 (2)

(120 分)

人文学類

注意

1. 指示があるまで問題用紙を開かないこと。
2. 解答は設問ごとに別々の用紙を用いること。
3. 解答用紙の上部の空欄に、設問の番号を書くこと。
4. 解答用紙と下書き用紙は、はじめに切り離すこと。
5. 解答は横書きで記入すること。

問題文は次のページからはじまります。

以下の英文は Jack Goody, *The Theft of History* (Cambridge, 2006) の序文 (一部) です。これを読んで次の設問に日本語で答えなさい。右肩に番号がついている語句は、各ページの下に意味の説明があります。

【問 1】本文中で引用されている Trevor-Roper の見解に対する著者の立場を説明し、著者がいう“theft of history”とは何を意味するのか解説しなさい。(600 字以内)

【問 2】「民主主義」、「市場」、「愛」、「核家族」、「正義」のいずれかの起源について、本文の趣旨を踏まえて、あなた自身の考えを具体的に述べなさい。(600 字以内)

【解答記入上の注意】固有名詞等の表記で英数字を用いる場合は、1 マスに 2 字を書き入れなさい。





